

【水槽車の役割】

CAFS 搭載！泡消火により効率の良い消火活動を実現！



長岡京消防署の水槽車は容量2,000LのタンクとCAFS（圧縮空気泡消火システム）を装備しており、建物火災や車両火災はもちろん、高速道路火災など消防水利が少ないところでも大活躍します。

この消防車を運用する部隊は、

長岡第2消防隊 です。

第2消防隊は隊長以下5名で編成されています。

ちなみに長岡第2消防隊は長岡救助隊が兼任しているため、災害の種類によって車両を乗り分け現場へ向かいます。

特徴

- 1 長さ7.34m、幅2.30m、高さ3.11m、MT車
- 2 水槽2,000L、アシスト付きホースカー
- 3 車両上部に三連はしご、二つ折りはしごを搭載
- 4 吸管はサイドプル仕様
- 5 ポンプ性能A2級
- 6 CAFS（圧縮空気泡消火システム）を装備（乙訓消防ではこの車両のみ）



車両の上部には、はしごを積載しており、2階や3階に逃げ遅れた要救助者を救出することができます。



左右どちらからでも容易に吸管を引出せるため、迅速に吸水ができます。



ホースカーは、電動アシスト付きで上り坂でも容易にホースを伸ばすことができ、消防車が入れないような狭い道で活躍します。消防水利から離れた現場へのホース延長をするときに使用します。



CAFS（圧縮空気泡消火システム）は、「クラスA泡消火薬剤」「水」「圧縮空気（5～20倍）」を混合し、泡放水を可能とするものです。少ない水で長時間の放水が可能となり、また、空気を混合させることでホースの重さが通常の水放水時（65mmホース通水時、約75kg）の半分以下となり、隊員の機動性が向上します。

乙訓消防では導入してから3年で、様々な火災現場で活躍しています。これからも、火災現場で被害を最小限に抑え、再燃防止等、消防隊の武器として活用していきます。

※泡放水による、環境及び人体への影響はほとんどないものとされており。